

# 平成28年度 第4回北陸地方整備局 事業評価監視委員会

## 対象事業位置図

資料 - 1

平成28年度第4回  
北陸地方整備局  
事業評価監視委員会

金沢港大野地区国際物流ターミナル整備事業（再評価）

国道253号 上越三和道路（再評価）

荒川総合水系環境整備事業（再評価）

国道7号 新発田拡幅（再評価）

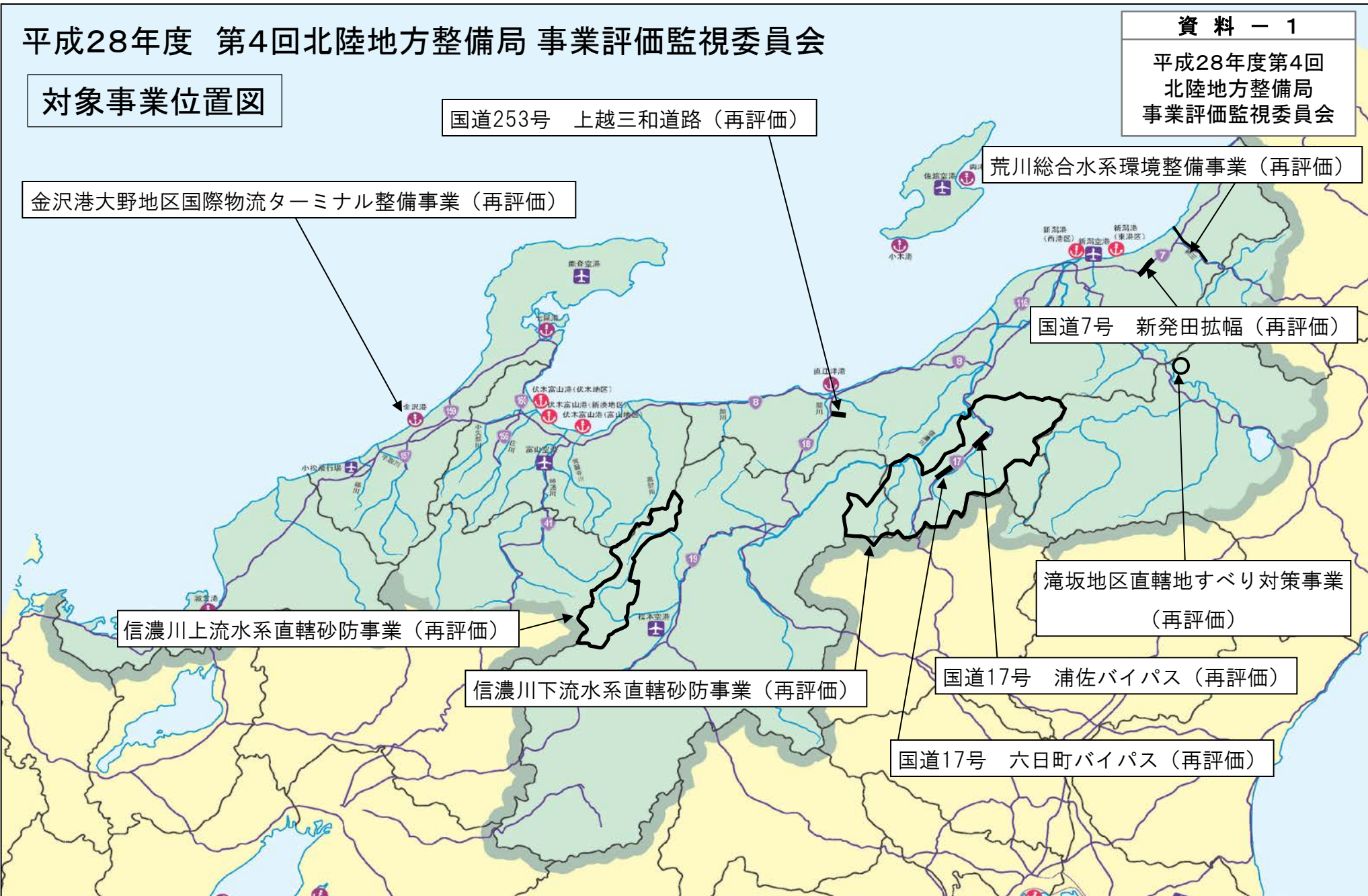
信濃川上流水系直轄砂防事業（再評価）

信濃川下流水系直轄砂防事業（再評価）

滝坂地区直轄地すべり対策事業  
（再評価）

国道17号 浦佐バイパス（再評価）

国道17号 六日町バイパス（再評価）



# 平成28年度 第4回事業評価監視委員会 審議案件の概要

## 【再評価】

▽3年経過事業の前回評価は平成25年度

事業名等	全体B/C (残事業B/C)	対応方針 (原案)	事業化等 年次	該当要件	全体 事業費	平成28年度末までの 投資額見込み(進捗率)	備考
1) 河川環境事業の再評価							
・ 荒川総合水系環境整備事業 (羽越河川国道事務所)	2.2 ※1 (3.1) ※1	事業継続	平成23年度	再評価後 3年経過	約11億円	約4.7億円 (43%)	※1国土交通省所管公共事業の再評価実施要領の運用について(通知)に基づき、B/Cは平成25年度評価時点
2) 砂防事業の再評価							
・ 信濃川下流水系直轄砂防事業 (湯沢砂防事務所)	1.4 ※1 (1.6) ※1	事業継続	平成22年度 (中期目標)	再評価後 3年経過	約1,411億円	約401億円 (28%)	※1国土交通省所管公共事業の再評価実施要領の運用について(通知)に基づき、B/Cは平成25年度評価時点
・ 信濃川上流水系直轄砂防事業 (松本砂防事務所)	1.7 ※1 (2.1) ※1	事業継続	平成22年度 (中期目標)	再評価後 3年経過	約473億円	約164億円 (35%)	※1国土交通省所管公共事業の再評価実施要領の運用について(通知)に基づき、B/Cは平成25年度評価時点
3) 地すべり対策事業の再評価							
・ 滝坂地区直轄地すべり対策事業 (阿賀野川河川事務所)	13.9 ※1 ※2 (15.1) ※1 ※2	事業継続	平成8年度	再評価後 3年経過	約230億円 ※2	約191億円 (83%) ※2	※1 国土交通省所管公共事業の再評価実施要領の運用について(通知)に基づき、B/Cは平成25年度評価時点 ※2 福島県事業含む
4) 道路事業の再評価							
・ 国道17号浦佐バイパス (長岡国道事務所)	—	事業継続	昭和63年度	再評価後 3年経過	約210億円	約147億円 (70%)	・ 国土交通省所管公共事業の再評価実施要領の運用について(通知)に基づき、B・Cは平成25年度評価時点 ・ 防災面の効果が特に大きい事業

# 平成28年度 第4回事業評価監視委員会 審議案件の概要

## 【再評価】

▽3年経過事業の前回評価は平成25年度

事業名等	全体B/C (残事業B/C)	対応方針 (原案)	事業化等 年次	該当要件	全体 事業費	平成28年度末までの 投資額見込み(進捗率)	備考
4) 道路事業の再評価							
・ 国道17号六日町バイパス (長岡国道事務所)	0.9 (1.6)	事業継続	平成6年度	再評価後 3年経過	約302億円	約182億円 (60%)	
・ 国道7号新発田拡幅 (新潟国道事務所)	1.1 ※1 (2.0) ※1	事業継続	平成3年度	再評価後 3年経過	約340億円	約148億円 (44%)	※1 国土交通省所管公共事業の再評価実施要領の運用について(通知)に基づき、B/Cは平成25年度評価時点
・ 国道253号上越三和道路 (高田河川国道事務所)	1.04 (1.6)	事業継続	平成13年度	再評価後 3年経過	約704億円	約182億円 (26%)	
5) 港湾事業の再評価							
・ 金沢港大野地区国際物流ターミナル 整備事業 (金沢港湾・空港整備事務所)	1.2 (2.5)	事業継続	平成18年度	社会経済情勢の 変化等により再 評価の実施の必 要が生じた事業	約336億円	約264億円(79%)	